

経営比較分析表（令和元年度決算）

埼玉県志木市 志木駅東口地下駐車場

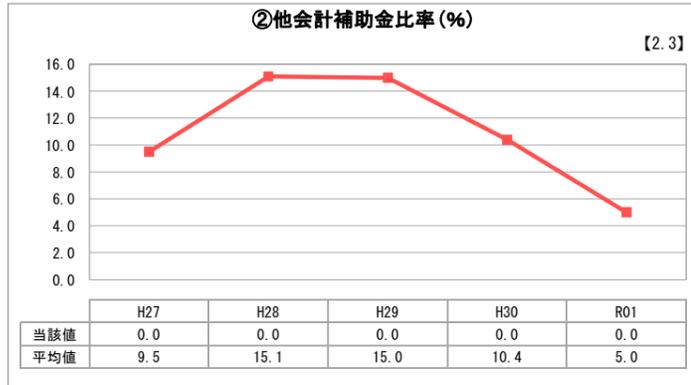
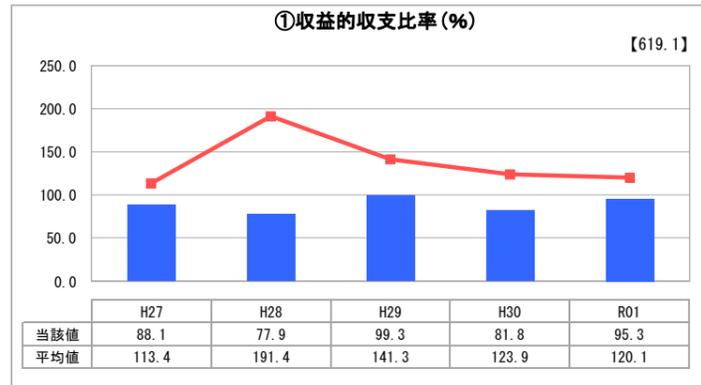
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A 2 B 1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	20	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	無	2,288
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
150	400	利用料金制

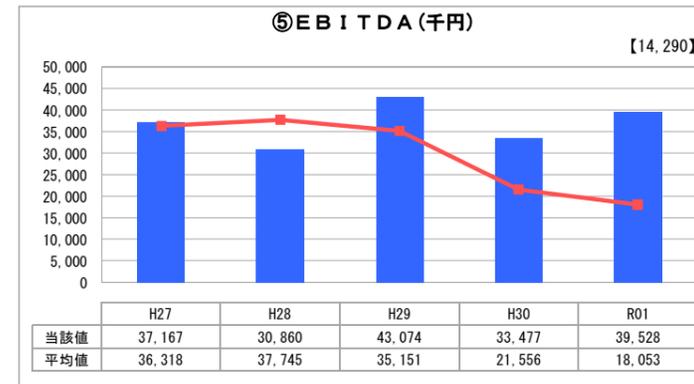
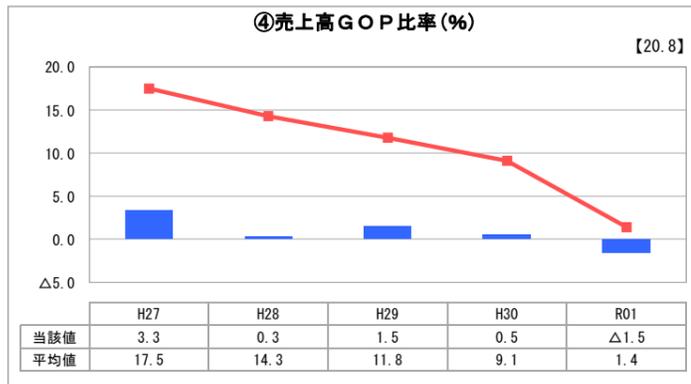
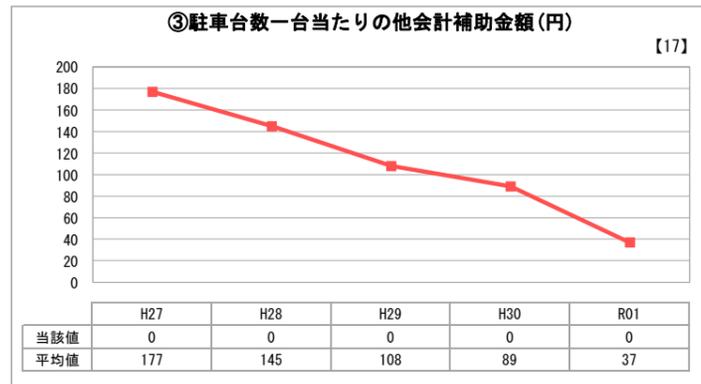
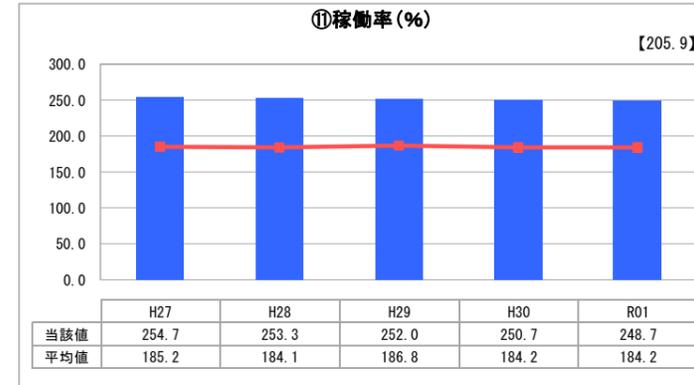
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和元年度全国平均

1. 収益等の状況



3. 利用の状況



分析欄

1. 収益等の状況について
 ①の収益的収支比率については100%を若干下回っているが、経営上は問題ないと考えています。②の他会計補助金比率は、他会計から補助金を繰り入れていないため0となります。③の駐車台数一台当たりの他会計補助金額は、他会計から補助金を繰り入れていないため0となり、独立採算による運営を果たしています。④の売上高GOP比率はマイナスに転じており、収益性が悪いことから、経営改善に向けた取組が必要である。⑤のEBITDAは平均値を大きく上回っており、前年より修繕工事費の支出が減少したことにより、前年度より収益性が上がった。

2. 資産等の状況について
 ⑥の有形固定資産減価償却率については、当施設は地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されません。⑦の敷地の地価については、地下式のため、0となります。⑧の設備投資見込額については設備の一般的な耐用年数により積み上げた費用であることから、実際の設備の更新は耐用年数と現状の機能等を総合的に判断するとともに投資額の平準化も踏まえて実施する必要があると考えています。⑨の累積欠損金比率は当施設は地方公営企業法非適用事業であるため指標は算出されません。⑩の企業債残高対料金収入比率は減少傾向であり、計画に基づき順調に償還できていると判断できます。

3. 利用の状況について
 ⑩の稼働率は、類似施設平均を超える数値で安定しており、施設の利用状況は良好であると判断できます。

2. 資産等の状況

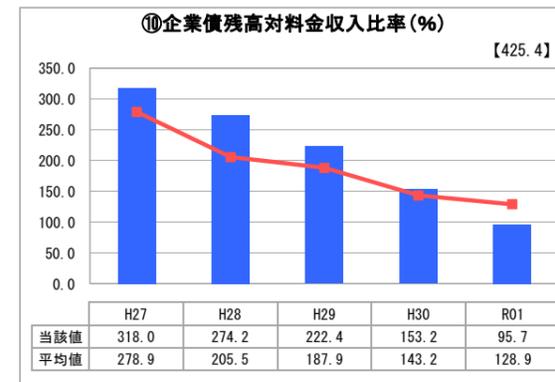


⑦敷地の地価(千円)

0

⑧設備投資見込額(千円)

194,792



全体総括
 当施設の利用者は隣接する商業施設への利用者が多く、料金収入はその来客数に大きく左右される施設となっている。平成27年度に近隣市に大型商業施設が開店したことから、当施設の利用台数も減少してきており、何らかの改善策を検討する必要があります。また、今後、老朽化による設備更新も必要となってくることから、それらを踏まえた中長期的な計画を立て、安定経営に努めてまいります。